ISSN 0388-5569
VOL.5 NO.2
(通巻14号)
1984.6

Library News

山口大学附属図書館報

目次

ハーバード大学図書館専門職のこと 畑地正憲……1
≪お知らせ≫
本館資料配置図……3
新医学部分館への移転に伴う休館について……3
寄贈図書……3
昭和59年度附属図書館関係各種委員会委員名簿……4
人事異動……4
西野精一氏の死を悼む……5
日　誌……5
昭和58年度図書館統計表……6

ハーバード大学図書館専門職のこと

畑　地　正　憲

大学における最も重要な研究条件は，図書館が充実し，その運営が円滑であり，利用者にとって利便であることである。図書館の充実は，蔵書の豊富さや特色あるコレクションの有無に左右されることであろうが，運営の良否は，図書館業務に従事する図書館職員の専門家としての自覚と研修が重要な要因となるといってよい。図書館は，書籍や資料などを集積しておくところではなく，読まれ，活用されるところである。東洋学研究のメッカ東洋文庫が開館したとき，理事長井上準之助が，館員に対して，「今後，ここを利用する人に，東洋文庫へ本を読みに来ることは，他のどこへ勉強に行くよりも楽しいと思わせるように心懸けて下さい。」と訓辞したことは（石田幹之助「東洋文庫の生まれるまで㈣」参照），図書館運営における館員の役割の大きさを認識してのことであった。

図書館利用者にとっては，必要とする文献や資料が速やかに入手できることが望ましく，館員にとっては，利用者の要求に対応できる情報と知識・技能を有していることが必要である。図書館の良否の鍵は，場所（施設）5％，資料・図書20％，職員75％であると言われる。特に，職員は，利用者と資料・図書を結びつけるものであり，〝Docter of Book〟と称されている。

日本における研究者には，自己の研究分野に関連する資料・図書を集積し，蔵書家たらんとする風潮がある。しかし，今日の増大する情報量や出版量のもとでは，蔵書家である研究者となることは至難のことである。従って，研究者にとって，図書館の必要性は一層増大しているのである。

海外における研究者の多くは，図書館を活用することによって研究を推進しており，このため，伝統ある大学は，蔵書・運営ともにすばらしい図書館を有し，有能な図書館専門職員を配置して，利用者のニーズに応えている。以下に，ハーバード大学での在外研究中に知り得た，図書館専門職員の任用，待遇等について紹介したい。

1981年度におけるハーバード大学には，98の図書館があり，蔵書総数約1,040万冊，職員数約860名（約57.7％が女性）である。98の図書館には，中央図書館であるワイドナー図書館（蔵書約320万冊）・東洋学研究の資料や図書を収めるエンチン図書館（蔵書約61万冊）など11のカレッジ図書館から，ハウス（寄宿舎）の10の図書館（一館平均蔵書約1万冊）までの大小のものを含んでいる。各図書館の蔵書カードは，ワイドナー図書館に集められており，図書の検索は容易である。

ハーバード大学図書館年報（1981～1982）によると，1981年度総経常費は，2700万ドル（約62億円）であり，人件費が約48％の1300万ドル（約40億円）を占めている。一人当り年間15300ドル（約352万円）の賃金が試算できる。ワイドナー図書館内のカレッジ図書館庶務担当主任ホゼ・スタンプ女史及び副主任スーザン・バッカ女史の談話によると，1982年度におけるカレッジ図書館11の職員数約400人であり，総人件費705万ドル（一人当り約17600ドル）であって，給料は，表(I)のよ

うに3ランクに区分されている。

表Ⅰ：カレッジ図書館員給料表（単位：ドル，( )内は円に換算したもの）

ランク＼年	1982 ～ 1983	1983 ～ 1984
Ⅰ	16,000～18,000 （368万～414万）	16,800～19,740 （386万～454万）
Ⅱ	19,000～28,200 （437万～648万）	19,950～29,610 （458万～681万）
Ⅲ	23,000以上 （529万～ ）	24,150以上 （555万～ ）

2年間のアップ率は5％であり、物価に比例してアップしたものである。なお，〝The world almanac and Book of facts 1983″によると，1979～1982年の間の米国における労働者（ブルーカラー）の年間平均賃金は，12,200ドル（1979年），13,400ドル（1980年），15,000ドル（1981年），16,200ドル（1982年）と変化している。

ハーバード大学における図書館職員の賃金体系は，1969年の大学紛争中に起った職員の地位・任用・職務等に関する全学的統一化の運動の結果として実現したものである。図書館職員の情報交換誌である週刊ニュース（HUL NOTESと略す。1981年9月に創刊され，1983年3月で691号になる）によると，156号（1971年11月25日発刊）及び238号（1973年6月21日発刊）において，全学的に統一された規定の原案が掲載されており，図書館公報21－3（1973年7月）において，1973年7月1日より規定の発効が公示されている。

1973年には，「ハーバード大学図書館職員会議（アセンブリーと略称す）」が，専門職員とインターン職員とを構成員として組織された。このアセンブリーの成立によって，「図書館職員が，図書館並びに大学に関する事柄に有効に参加するための協議会」が開設された。協議会は，原則として5月と11月の年2回開催され，その議事録はハル・ノーツに掲載されている。ちなみに，協議会は，1975年5月より始まり，1983年5月で22回である。なお，人事問題に関しては，1973年以降，規定改正を行う問題もなく，安定しているようである。

図書館職員となるには，図書館学に関する修士号を取得していることが絶対必要条件である。その地位と任用については，表Ⅱの区分がある。

表Ⅱ：図書館職員の地位と任用

ランク＼事項	地位	任期	審査と任用
Ⅰ	専門職としての業務を専門職員の監督下で修得する新任者	1年	満期6ケ月前に任用を継続するか否か (up or out) が決定される。
		1年	同上
		2年	満期1年前に任用に関する評定がなされる。 満期半年前に，二人の審査員（一人は審査されるものが選択できる。以下同じ）によって，Ⅱランクへ任用するか否かが決定される。
Ⅱ	専門職員としての技能・知識を修得し，運営・企画の立案に当ることができると認定された者	5年	1年後，勤務評定される。 2年半後，二人の審査員によって，Ⅱランクに継続任用するか，Ⅲランクへ昇任させるか審査する。 4年半後に，二人の審査員によって，任用を打切るか，定年まで身分を保障するⅡランクかⅢランクに任用するか審査される。
		定年（65才まで）	4年後にⅢランクへの昇任が審査される。その後は，5年毎に審査される。 定年4年前には審査をしない。
Ⅲ	業務に熟達し，責任者として，全体的指導能力を有する者	定年（65才まで）	4年後に審査される。 その後は，5年毎に審査される。

図書館職員の審査には，俸給に関する査定が含まれており，その決定は，審査員の報告に基づき，学長を議長とする委員会でなされる。定年までの身分保障を得た図書館職員になるには，9年（早

い者で7年）間のⅠ及びⅡランクの任用経歴が必要である。任用継続には，審査がくり返され，審査に合格するためには，図書館専門職員としての知識・技能の向上に務めなくてはならず，そのための研修が義務づけられている。定年までの身分保障を有する専門職員は，各図書館の部課における指導者・責任者としての役職に当り，図書館を利用する研究者・院生・学生・一般人の多様な相談に対応しなければならない。従って，研究を円滑に遂行するためには，図書館専門職員，とりわけⅡやⅢのランクの職員の協力が不可欠のものである。この意味においても大学図書館は，「大学の心臓」と称されている。

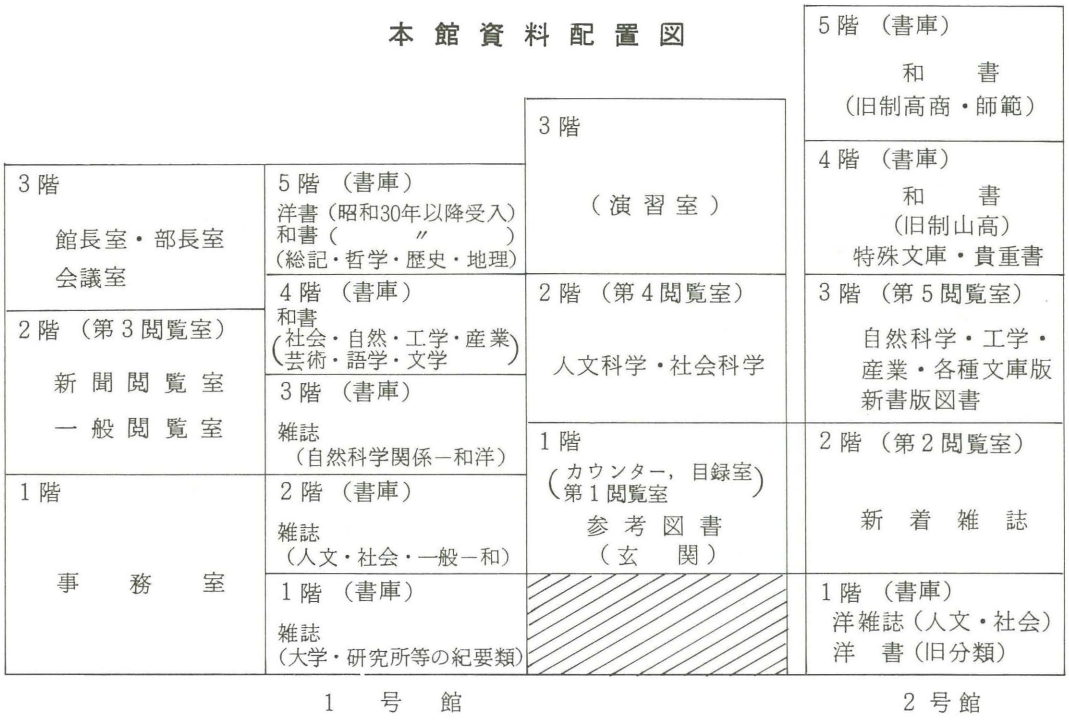
ハーバード大学図書館専門職員の待遇・任用・審査などに関する諸事項は，米国の他の大学 ― スタンフォード，カリフォルニア，エール，コロンビア，プリンストンなどの大学における図書館専門職員についても，基本的には同じものである。

筆者に与えられた紙数は，大幅に超過した。本学の図書館が，「大学の心臓」として，他のどこで学習する場合より，知的充実感が得られる図書館となることを念じつつ，一応の区切りとしたい。

（人文学部　教授）

≪お知らせ≫

本館資料配置図



新医学部分館への移転に伴う休館について

昨年11月に着工された新分館建設が3月28日に竣工しました。7月16日から移転作業を開始し，8月20日から開館，業務を開始する予定です。

この移転作業期間中は全面休館とし，全業務を休業します。利用者の方々には多大のご迷惑をおかけいたしますが，ご協力をお願いします。

なお，新分館の紹介は当ニュースの次号でさせていただく予定です。

寄贈図書

（本館）

沢谷昭次（教養部）　漢籍版本入門　陳国慶著　沢谷昭次訳　研文出版　1984

小野忠熙（名誉教授）　高地性集落論　学生社　昭和59

昭和59年度附属図書館関係各種委員会委員名簿

◇ **運営委員会**　　◎印は委員長

◎木脇　祐順（館長）	竹尾　和典（医学部分館長）	荻野　正二（工学部分館長）
内山　俊彦（人文学部）	石井　　大（人文学部）	杉尾　　守（教育学部）
堂面　春雄（教育学部）	亀本　敏雄（経済学部）	吉村　　弘（経済学部）
安倍　清彦（理学部）	飯石　一明（理学部）	黄　　基雄（医学部）
清水　茂俊（工学部）	川島東洋一（農学部）	足立　収生（農学部）
渡辺　信生（教養部）	熊谷　寛次（教養部）	梶井　　正（附属病院）
緒方　幡典（医療技術短期大学部）		池谷　元伺（工業短期大学部）

◇ **本館図書委員会**

◎木脇　祐順（館長）	内山　俊彦（人文学部）	石井　　大（人文学部）
杉尾　　守（教育学部）	佐藤　　登（教育学部）	亀本　敏雄（経済学部）
吉村　　弘（経済学部）	大城紀代市（理学部）	君波　和雄（理学部）
川島東洋一（農学部）	足立　収生（農学部）	古賀　秀男（教養部）
西岡　道夫（教養部）	上島順二郎（事務部長）	

◇ **医学部分館図書委員会**

◎竹尾　和典（二生化）	黄　　基雄（二解剖）	梶井　　正（小児科）
芳原　達也（公衛生）	小田　裕胤（整形外科）	緒方　幡典（医短）

◇ **工学部分館図書委員会**

◎荻野　正二（分館長）	加藤　泰生（機械）	水田　義明（資源）
梶返　昭二（工化）	浮田　正夫（土木）	松本　久男（電気）
酒井　義郎（生産）	中尾　勝實（化工）	井上　克司（電子）
松田　　博（建設）	嶋村　修二（共通）	藤田　武男（工短）
松崎　浩司（工短）		

人事異動

〔昇任〕

松本　敬吉	閲覧課図書館専門員　（閲覧課雑誌係長から）	59. 3. 1
上島順二郎	事務部長　（東京大学附属図書館総務課長から）	59. 4. 1
澤田　　健	閲覧課長　（筑波大学図書館部運用課課長補佐から）	59. 4. 1
熊丸アキ子	整理課総務主任　（整理課総務係）	59. 4. 1

〔配置換〕

端野　輝昭	（整理課総務係主任）　学生部学生課学生係主任へ	59. 3. 1
中川　秀夫	整理課総務係　（閲覧課雑誌係から）	59. 3. 1
田中　俊二	閲覧課雑誌係　（整理課総務係から）	59. 3. 1
松川　　衛	（事務部長）　北海道大学附属図書館事務部長へ	59. 4. 1
辻　　武夫	（整理課長）　岡山大学附属図書館整理課長へ	59. 4. 1
永久　昭二	整理課長　（閲覧課長から）	59. 4. 1

〔転任〕

伊藤　和夫	閲覧課雑誌係長　（徳山工業高等専門学校庶務課図書係長から）	59. 3. 1
横山　茂樹	医学部分館整理係　（神戸大学附属図書館閲覧課から）	59. 4. 1

〔退職〕

寺田　達司	（整理課総務係長）	59. 4. 1

〔死亡〕

西野　精一	（閲覧課参考係）	59. 3. 19

西野精一氏の死を悼む

3月19日、午後の仕事を始めて間もない1時15分頃だったのでしょうか。私たちが気付いた時には西野さん貴方は私たちの呼びかけにももう応答してくれませんでした。数分前に言葉を交した時はいつもと全く変らなかったのに，私たちが席を空けた僅かの間に貴方の身体にあのような急変が起ろうとは全然予想できないことでした。宛名を書きかけた封筒の最後の字が途中から長い線となっており，それが貴方の心臓に起った異常に対しその瞬間自分ではどうすることもできなかったことを物語っているようでした。

昭和36年12月、山口大学附属図書館文理学部分館に奉職され，以来20有余年図書館一筋で来られました。真面目で几帳面な性格は図書館での仕事ぶりにもよく表れており，それは図書館人としての姿勢をいつも私たちに示しておられるように思っていました。

今年の冬は寒さが厳しく、春の訪れも大変おくれました。草花が大好きで新築の自宅にも澤山の花木を育てていた貴方でしたが，今年の春は殊の外待遠しい思いでおられたのではないかと推察しています。その春の便りも聞かず逝ってしまった西野さんの胸中を思いながら，心から御冥福をお祈りいたす次第です。

享年46才　（蘰永記）

日　誌

2月23日（木）　工学部分館図書委員会
2月24日（金）　図書館職員研修会：今後の大学図書館の書誌情報について（慶応義塾大学文学部助教授　上田修一）
2月24日（金）～28日（火）　工学部分館新営予定地埋蔵文化財発掘調査
3月7日（水）　第12回本館図書委員会
3月8日（木）　図書館職員研修会：最近の学術情報流通体制の動向（図書館情報大学教授　松村多美子）
3月9日（金）　電算化のための日本電気㈱との定例会
3月12日（月）～21日（水）　館内資料の移転
3月21日（水）　全国図書館大会実行委員会（於　県立図書館）
3月21日（水）　工学部分館新営・改修工事入札
3月28日（水）　医学部分館竣工
4月4日（水）～14日（土）　工学部分館新営・改修工事にともなう移転作業のため休館
4月16日（月）　医学部分館図書委員会
4月16日（月）　工学部分館移転先（西講義棟111教室，電子工学科棟電子演習室）にて業務開始
4月20日（金）～21日（土）　第32回中国四国地区大学図書館協議会総会（於　岡山　まきび会館）
4月22日（日）　工学部分館新営・改修工事着工
4月25日（水）　研究集会第1回準備委員会
5月11日（金）　機械化推進委員会
5月17日（木）　第42回附属図書館運営委員会
5月18日（金）　電算化のための日本電気㈱との定例会
5月21日（月）　山口県立山口図書館との連絡協議会（於　県立図書館）
5月24日（木）～25日（金）　第20回日本医学図書館協会中国四国部会（於　岡山 まきび会館）
5月25日（金）　研究集会第2回準備委員会
5月30日（水）　昭和59年度国立大学附属図書館事務部課長会議（於　東京医科歯科大学）

昭和58年度図書館統計表

Ⅰ　蔵　書　数（昭和59年3月31日現在）

区　　分	図　書　（冊数）			雑　誌　（種類数）		
	和	洋	計	和	洋	計
本　　館	592, 191	218, 426	810, 617	7, 032	2, 775	9, 807
医学部分館	60, 376	51, 792	112, 168	1, 112	1, 025	2, 137
工学部分館	61, 988	32, 014	94, 002	1, 101	623	1, 724
計	714, 555	302, 232	1, 016, 787	9, 245	4, 423	13, 668

Ⅱ　年間受入数

区　　分	図　書　（冊数）			雑　誌　（種類数）		
	和	洋	計	和	洋	計
人文学部	3, 382	1, 588	4, 970	168	129	297
教育学部	4, 279	937	5, 216	368	276	644
経済学部	5, 252	3, 592	8, 844	709	547	1, 256
理学部	425	965	1, 390	56	204	260
農学部	313	341	654	81	136	217
教養部	2, 165	1, 947	4, 112	152	320	472
学生相談所					3	3
保健センター	28	5	33	5	3	8
埋蔵文化財資料館	17		17	6		6
本　　館	3, 641	1, 010	4, 651	3, 346	632	3, 978
小　　計	19, 502	10, 385	29, 887	4, 891	2, 250	7, 141
医学部分館	2, 682	2, 388	5, 070	753	708	1, 461
工学部分館	2, 715	1, 503	4, 218	746	529	1, 275
合　　計	24, 899	14, 276	39, 175	6, 390	3, 487	9, 877

Ⅲ　利用統計

区　分	開館日数（日）		入館者数（人）			館外帯出者数（人）			館外帯出冊数（冊）		
	時間内	時間外	時間内	時間外	計	時間内	時間外	計	時間内	時間外	計
本　館	196	163	136, 606	35, 051	171, 657	18, 164	5, 248	23, 412	37, 328	10, 378	47, 706
	一日平均		697	215	－	93	32	－	190	64	－
医学部分館	296	254	23, 924	13, 111	37, 035	13, 230	7, 453	20, 683	27, 128	14, 100	41, 228
	一日平均		81	52	－	45	29	－	92	56	－
工学部分館	290	198	29, 409	8, 106	37, 515	7, 634	2, 678	10, 312	15, 192	4, 419	19, 611
	一日平均		101	41	－	26	14	－	52	22	－

Ⅳ　文献複写（件数）

区　　分		学　内　者			学外者	他大学等			合　計
		私　費	公　費	小　計	私　費	私　費	公　費	小　計	
電子式複写	本　　館	1, 418	468	1, 886	30	372	805	1, 177	3, 093
	医学部分館	4, 294	3, 666	7, 960	685	1, 273	1, 123	2, 396	11, 041
	工学部分館	213	18, 846	19, 059	34	6	455	461	19, 554
	合　　計	5, 925	22, 980	28, 905	749	1, 651	2, 383	4, 034	33, 688
印画引伸	本　　館	0	1	1	0	0	0	0	1

編集・発行　山口大学附属図書館　〒753　山口市大字吉田　電話（0839）22－6111　内線788